

大阪の 社会福祉

2022年4月

803



社会福祉
法人

大阪市社会福祉協議会

<http://www.osaka-sishakyo.jp>



就任あいさつ

社会福祉法人
大阪市社会福祉協議会会長

永岡 正己



皆さまに
は、平素か
ら大阪市社
会福祉協議
会の活動に
ご理解とご
協力を賜
り、厚くお礼申しあげます。

このたび、令和4年3月17日
に開催されました理事会におき
まして、大阪市社会福祉協議会
会長に選任されました。故・宮
川前会長の思いを引き継ぎ、こ
れまで目指してきた社協らしい
活動の積み重ねを大切にしながら、
地域福祉の発展のため、力
を尽してまいりる所存ですので、
どうぞよろしくお願い申しあげ
ます。

2年以上におよぶコロナ禍に
より苦難のなかにある皆さまに
心からお見舞い申しあげます。
今日、少子・高齢社会の進行、
貧困と格差の顕在化が見られ、
そこへ新型コロナウイルス感染
症拡大が重なり、地域社会と生
活を取り巻く環境は大きく変化
してきました。高齢者の孤立や
子育ての不安、生活困窮に、人
と人とのつながりの弱まり、地
域の居場所づくりの課題など、
私たちの福祉課題はさまざま
なカタチで深刻化しております。
そのようななかで、新しい支
援の仕組みも各地で生まれ、オ
ンラインの活用や情報共有のあ

り方など、新しいつながりの方
法も生まれてきました。社協で
は、今回の経験もふまえて、皆
さまとともに、持続可能な社
会、誰もが幸せに感じる社会を
願い、地域生活支援の取組みに
努めてまいります。最近もまた
大規模地震が発生し、防災・災
害支援の取組みも社協の重要な
課題となっておりますが、災害
発生時に即座に対応できるよう
に、平時から防災教育・訓練・
備蓄資材の確保等にも努めてま
いります。

さらに、いま世界情勢におい
ては平和が脅かされる危機が続
いております。「福祉と平和は
一つ」と言われます。私たちに
できる必要な支援を行うとと
に、広い視野に立って、人間の
尊厳、人権、自治を大切にした
活動を進め、福祉を通して平和
を守り育てる取組みを地域のな
かから進めていくことも必要と
なっております。

今後、地域で暮らす方々の
願いに答え、二人ひとりの人権
が尊重されるやさしさとぬくも
りのある福祉によるまちづく
りの実現に向けて、役職員一
同、市民の皆さまに信頼される
社協をめざし、地域福祉のさら
なる推進に努めてまいりますの
で、ご指導・鞭撻を賜りますよ
う、お願い申しあげまして就任
のご挨拶とさせていただきます。

HB

地域や近所ってどの
エリアを言うのだろ
うとよく考える▼先
日、おいしいカレー屋さん
があるので行きませんか、孫
といってもおかしくない若者
に誘われた。それが千早赤阪
村だというのだ。私のイメー
ジではカレーを食べに行くエ
リアではない▼福祉施設に勤
務する彼は、利用者のコロナ
感染を防ぐために、同世代の
仲間と交流したり、都心の繁
華街に出たりすることを、職
場から禁じられている。それ
で、爺さんと千早赤阪村なの
だ▼人が住まなくなった古民
家を改装したカレー屋さん。
どうしてこんな山奥の店を
知っているのかと彼に尋ねた
ら、今はやりのSNSだと
か。近所の人が来てくれると
店主も言うが、近所には住
んでもないし、インド風のカ
レーは、この村のお年寄りが
好んで食べるカレーではない
▼大和川の南側はみんな近所
と店主は言う。コロナの時
代、私たちの目は人の少ない
田舎に向いている。福祉施設
の職員でなくても、感染の可
能性の低いところで過ごした
と思う▼SNSで情報を取り
り、車で移動できる所が近
所。世代を超えると、私たち
の知らない新しいコミュニ
ティが生まれている。
(石)

理事会・評議員会を開催

令和4年度の事業計画及び予算を承認

市社協は、3月17日に理事会、3月25日に評議員会を市立社会福祉センターで開催しました。

理事会では、開会に先立ち、2月24日に逝去されました宮川晴美前会長に、哀悼の意を表し、黙とうを捧げました。続いて、会長の選任について審議され、新会長に永岡正己会長が選任されました。また、令和3年

度補正予算（案）、令和4年度事業計画及び予算（案）、諸規則等の一部改正（案）、評議員会の開催（案）についても審議され、いずれも原案どおり承認されました。

令和4年度事業計画においては、「1 持続可能で自律した組織基盤の強化」について、安定して地域福祉の推進に係る事業を展開するために、人材の確

保・育成・定着に向けて強化して取り組んでいくこととし、区社協への法人運営強化に向けた支援についても進めていきます。

「2 地域共生社会の実現に向け知育福祉の推進基盤を担う区社協への支援強化」については、コロナ禍において、孤立や生活困窮などの地域生活課題が顕在化し、住民相互のつながりが弱まるなか、各区社協が身近な地域での助け合い・支え合いを実現する地域支援とあらゆる相談に対応する個別支援により、一人ひとりの暮らしを支える事業が展開できるよう支援を強化します。また、包括的な相談支援体制の充実に向け強化を図るとともに、近年着目されているヤングケアラーについても、SOSを見逃さない取組みなどを行政や関係機関と連携して進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け始まった特例貸付が令和4年6月末までとなったことを受け、引き続き対応するとともに、貸付終了後の生活再建に向けた支援が必要な方についても関係機関と連携して進めていきます。

また、新型コロナウイルス感

染症の影響を受け始まった特例貸付が令和4年6月末までとなったことを受け、引き続き対応するとともに、貸付終了後の生活再建に向けた支援が必要な方についても関係機関と連携して進めていきます。

令和4年度事業計画

- 1 持続可能で自律した組織基盤の強化
- 2 地域共生社会の実現に向け地域福祉の推進基盤を担う区社協への支援強化
- 3 多様な分野の主体・資源がにつながる地域福祉活動の推進
- 4 暮らしの相談支援の充実
- 5 災害に備えた平時からの取組みの推進
- 6 地域福祉を支える人材確保及び育成強化
- 7 暮らしの安心を支える権利擁護の推進
- 8 介護保険要介護認定調査・障がい支援区分認定調査事業の実施
- 9 福祉関係機関・団体との連携と協働



※詳細は
ホームページに
掲載

第2期地域福祉活動推進計画 1年目を総括

市社協は、2月22日に第45回大阪市地域福祉活動推進委員会をオンラインで開催しました。

市・区社協では、第2期大阪

市地域福祉活動推進計画（令和3～5年度）に基づき推進方針を定め、具体的な取組みを推進しています。委員会では計画1年目の概況を報告し、進捗状況や評価方法について意見交換。委員からは「コロナ禍における地域福祉活動状況調査（6面参照）」の2部変更して活動「の具体的な内容が分かれば参考にし

たい」「区社協と社会福祉施設で地域課題を共有して取組みにつなげられたら」「学校と連携して、休校時に給食の食材を、地域の活動で活用した例もある」など、コロナ禍での課題意識や活動状況も共有されました。今回の議論もふまえ、計画2年目へと歩みを進めていきます。

また前回委員会での意見から、計画をより広く伝えるため、概要版（A3二つ折りリーフレット）を作成しました。今後さまざまな機会を通じて積極的に発信していきます。

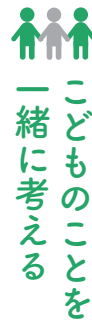
計画の「概要版」ができました！



PDFデータは市社協HPにも掲載しています
https://www.osaka-sishakyo.jp/suisin_keikaku/



こどもの居場所シンポジウム みんなに知ってほしい！ 天王寺区のこどもの居場所



こどものことを一緒に考える

天王寺区こどもの居場所連絡会（事務局：天王寺区社協）

は、3月3日に区民センターで、こどもの居場所シンポジウム2022「みんなに知ってほしい！天王寺区のこどもの居場所」を開催しました。

天王寺区では、令和3年3月にこどもの居場所連絡会を立ち上げ、活動団体同士の横のつながりを強めてきました。活動団体のことを広く区民に知ってもらい、顔の見える関係でこども



▲三者三様の「サードプレイス（家でも学校でもない第3の場所）」を報告



▲ポスターセッションにも多くの人が参加しました



居場所のかたちはいろいろ

第2部のパネルディスカッション

ンでは、無料学習塾を運営するNPO法人ふらいおんの藤川了さん、おにぎり屋のイトインスパースをこどもの居場所として開放しているおにぎりカフェけんちゃん、の嶋田祐規子さん、聖和地域の子育て支援サークル

もの木に民生委員・児童委員として長年携わる区社協の一本松三雪会長が登壇しました。藤川さんは、学習支援の居場所活動として令和3年1月に無料学習塾を立ち上げ、放課後に宿題をする小学生たちを高校生や大学生でサポートしています。今年度は、連絡会で知り合った施設やお寺と連携し、その活動を広げています。「こどもの居場所活動に参加や協力

をしたい人は、天王寺区にはたくさんさんの団体があるので、きっと合うところがあるはず」と話しました。

嶋田さんは「すべてのこどもが自分を肯定して生きられる社会になれば」との思いから、当初こども食堂の開設について区社協に相談しました。区社協からのアドバイスを受け、まずは

経営するおにぎり屋のイトインスパースをこどもの居場所として開放し、今ではこどもたち

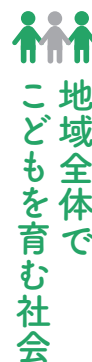
にしっかりと根付いた居場所となっています。

一本松会長は、地域での子育てで応援、親同士の仲間づくりを目的として始まった子育てサークルを、これまで小学校や高校などさまざまな場所で開催したことで、多くのつながりができたと話しました。民生委員・児童委員が子育て支援サークルを運営している強みのひとつとして「学校との情報共有のしやすさ」があると話し、地域で活動をコツコツと続けることの大切さを伝えました。

コーディネーターを務めた石田先生は、「やりたい人だけが



▲（左から）石田易司先生、嶋田祐規子さん、一本松三雪会長、藤川了さん

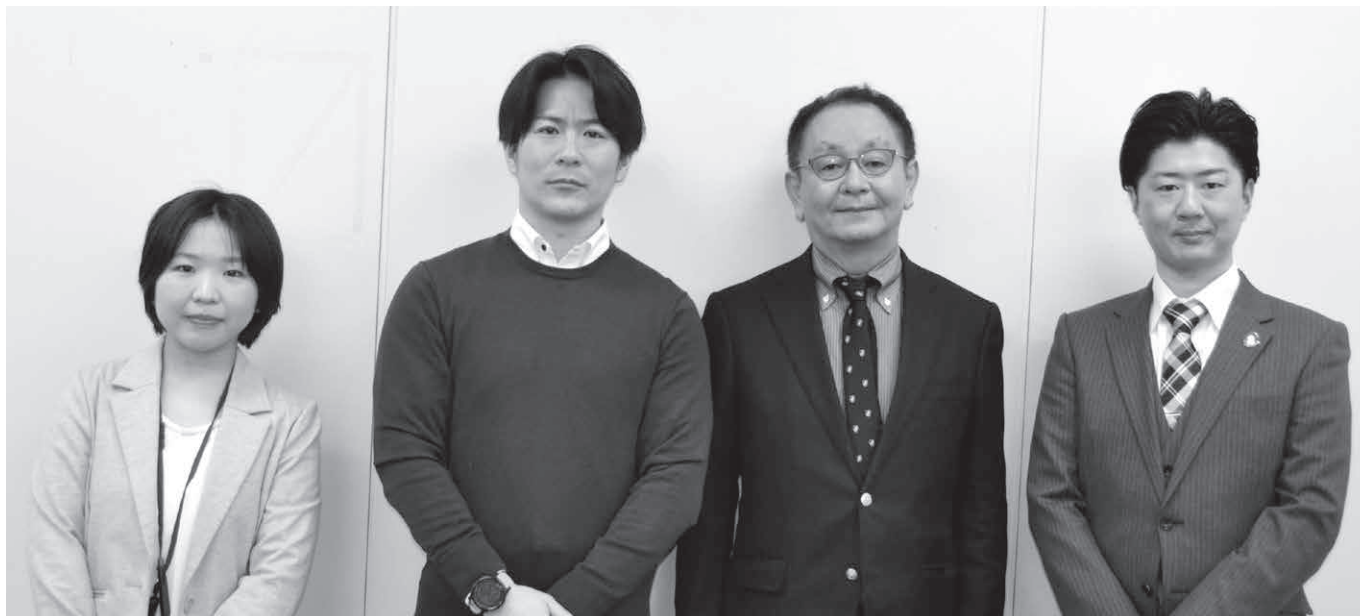


地域全体でこどもを育む社会

やっているのではなく、地域の人がどう関わるかが大切」と参加者に呼びかけ、こどもの居場所連絡会が情報共有やつながりの場だけでなく、活動したい人のマッチングの場になることに期待を寄せました。

また、第2部終了後、会場では7団体のポスターセッションがおこなわれ、参加者が活動者と直接言葉を交わし、活動の周知や交流を重ねました。終了時刻が近づいても、どのポスターの前にも多くの参加者が残っており、こどもの居場所活動に対しての機運の高まりが感じられました。

区社協・地域支援担当の上田和幸さんは「7人に1人がこどもの貧困と言われている現在、学校・家庭以外で安心して過ごせるサードプレイス（第3の居場所）が求められています。今回のシンポジウムによりさまざまな居場所の形を考えるとともに、地域と活動者がつながる機会となり、地域全体でこどもを育む社会への第一歩になれば」と話しました。区社協では、今後も、区内のこども支援の輪を広げつつ、地域の健やかなこどもの育ちを応援していきます。



左から：西成区社協 由浅さん、ヒューマンライツ福祉協会 山脇さん、大阪教育大学 新崎先生、優心会 北野さん

大阪市社会事業施設協議会（事務局：市社協）では、加盟6団体（児童・保育・高齢・生活保護・地域・障がい）の各施設を対象に、（かつて毎月第一水曜日に開催していたことから）「一水会」という学習会を、毎年開催してきました。令和2年度はコロナ禍で中止しましたが、3月8日、2年ぶりにオンラインにより開催。各区社会福祉施設連絡会（事務局：各区社協）の「合同学習会」と位置づけ、各施設や区社協の視聴会場から、施設役職員、社協職員ら約180人が参加しました。（大阪市社会事業施設協議会と市社協による共催）

社会福祉施設はコロナ禍で大きな影響を受けながらも、利用者の安心・安全な暮らしを守るため、日々運営を続けています。「施設を開く」「外に出向く」ことが難しい状況のなかで、何ができるのか。大阪教育大学特任教授の新崎国広先生を講師に迎え、2つの実践事例を共有しました。

報告1 毎朝の見守りは「つながり」のきっかけ

報告者は、平野区にある社会福祉法人優心会の北野智傑さん。同法人では、平成28年に開設したケアプランセンター（マシソン1階部分）前のほか、すぐ近くの特別養護老人ホーム前など、交通量の多い3か所で法人職員が小学生の登校時の見守りをしています。

きっかけは、ケアプランセンター開設前から懸念にしていた方が見守りをされていて、「お手伝いができれば」と声をかけたこと。職員と子どもたちは徐々になじみの関係になり、今では一緒にケアプランセンターの扉を開けて「外出中」「在室中」の看板の出し入れを手伝ってくれるそうです。さらに地域包括支援センターからの声かけで小学校の防災訓練に参加するなど、つながりは広がっています。「コロナでなければ入居者様と一緒に見守りをしよ

報告2 施設・区社協が「ポッチャ」で福祉教育

「西成区の施設同士でつながる機会に」と「西成ポッチャカップ」を企画・開催していた社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会の山脇功次さん。そんな山脇さんに「障がい者スポーツと一緒に福祉教育ができないか」と、区社協が協働を呼びかけ、小中学校でポッチャを通じて新たなプログラムを実施するようになりました。

山脇さんは、福祉教育を通じて出会った障がいのある生徒とのエピソードを交えながら、施設が福祉教育に関わる意義について「当事者が主人公になる社会につながる」「近いようで遠い地域と施設に橋を渡す」「み

コロナ禍で
考える

施設と地域のつながり。
公益的な取り組み
一水会・区社会福祉施設連絡会合同学習会

報告1

地域とつながるキッカケ —小学生の登校の見守りから—



社会福祉法人優心会 特別養護老人ホームこうのとり施設長
北野 智傑さん



んなで楽しさを共有できる」という3点を示しました。

一方、西成区社協で福祉教育を担当する由浅悠さんは「区社協職員だけで伝えられることには限界がある。逆に福祉のイメージを『自分とは遠いもの』にしてしまうおそれもある」と、区社協として、当事者に近い社会福祉施設と協働する意義を話しました。他の施設の参画も広がっていくため、令和3年

福祉は「笑顔づくり」

度は区社会福祉施設連絡会加盟施設に呼びかけ、意向調査や施設向け説明会などを進めています。

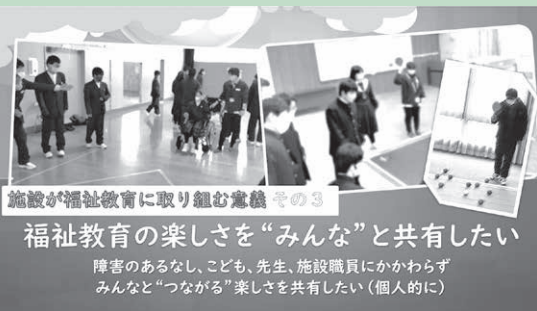
2つの報告を受けて、新崎先生は「一人でできないときは『助けて』『一緒にやろう』と言える勇気が大切。これは当事者も専門職も同じ。各分野の専門性がある施設と、地域福祉の専門家である社協が協働することで、互いのいいところを伸ばし、補い合える。これは『手段』であり、『目的』は利用者や地域の方々が笑顔になれること」と総括。両事例ともに、これから施設利用者とともに活動することをめざしていることに触れ、「サービスを受けるだけでなく、『主人公になれる』と実感でき

報告2

施設・区社協の協働による 学校での福祉教育の推進



社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会 大阪市中部地域障がい者就業・生活支援センター長
山脇 功次さん



施設が福祉教育に取り組む意義その3
福祉教育の楽しさを“みんな”と共有したい
障害のあるなし、こども、先生、施設職員にかかわらず
みんなと“つながる”楽しさを共有したい(個人的に)

たときには人は元気になる」とその大切さを強調しました。

参加者からは「公益的な取組みと言え、組織的で事業化されたものを考えがちだが、身近なところから目を向け、小さなところから行動する大切さに気づいた」「発表を聞いて、施設と学校をオンラインでつないでの福祉教育もできるかもと思った。」などの声が寄せられました。

福祉教育の課題

- 区社協職員で伝えることの限界
- 「福祉」のイメージをマイナスにしてしまう
遠い存在(特別な存在)にしてしまう

西成区社会福祉施設連絡会へアプローチし、福祉教育への参画施設を募る。



社会福祉法人大阪市西成区社会福祉協議会 地域支援担当
由浅 悠さん



「当日参加できなかった施設職員にも見てほしい」「施設内の研修や、区の連絡会などでも活用を」「社協職員の実践のヒントに」との思いで、学習会の配信内容を編集した動画を公開することとなりました。詳しくはリンク先から！

<https://sisetsukyo.osaka-sishakyo.jp/post-training/isk/>

学習会の動画が
HPから
視聴できます！

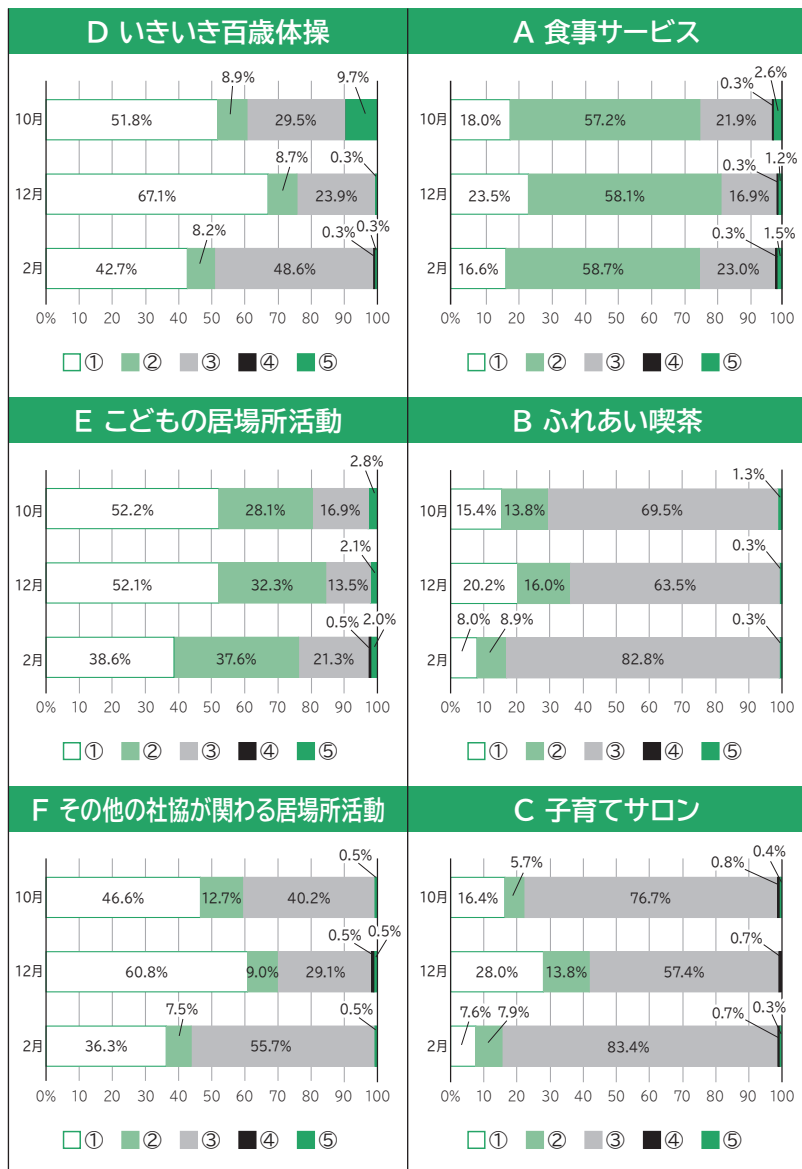
地域福祉活動の今 3

「コロナ禍における地域福祉活動状況調査」より

市社協では、地域福祉活動の再開やアフターコロナを見据えた活動についてともに考えるきっかけとして、コロナ禍における地域福祉活動の状況の推移を定期的に調査し、共有しています。今号では、令和3年度の市内の地域福祉活動状況の推移を掲載します。

令和4年1月頃から新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が急拡大し、大阪府下でも、1月27日から3月21日までまん延防止等重点措置が適用されました。

前回、令和3年12月末時点の調査では、各活動ともに再開の動きが見られましたが、この「第6波」を受け、令和4年2月末時点では各活動の実施も慎重になっている状況がうかがえます。



- ①通常通り活動
- ②一部変更して活動
- ③中止・休止
- ④終結
- ⑤その他



助成金のご案内

①赤い羽根共同募金助成金

■対象:大阪府内でおこなう民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業をおこなう法人・団体が、令和5年度(令和5年4月~翌年3月末)に実施する事業

■受付:令和4年5月2日(月)~20日(金)

かわらばやしふみ

②河原林富美福祉基金助成金(令和4年5月31日(火)まで受け付け)

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下でさまざまな福祉課題に取り組む事業も対象としています。

○ボランティア活動支援事業

■対象:大阪府内で広域で福祉ボランティア活動をおこない、一定の要件を満たす団体が、令和4年度(令和4年8月~翌年3月末)に実施する事業

○社会福祉協議会への地域福祉活動促進事業

■対象:大阪府内の市区町村社会福祉協議会が、令和4年度(令和4年8月~翌年3月末)に実施する軽自動車購入事業または地域福祉活動促進事業

①②とも、詳しくは大阪府共同募金会ホームページ

<http://www.akaihane-osaka.or.jp> をご覧ください。

問合せ=大阪府共同募金会 TEL:06-6762-8717 FAX:06-6762-8718
Eメール:ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp
(件名に「助成金の申請について」と明記してください) 赤い羽根おおさか 検索

参加費無料

第16期市民後見人養成講座 オリエンテーション

社会貢献に意欲と熱意のある市民の方を対象に、第16期市民後見人養成講座を開催します。開催にあたり、その趣旨・内容を説明するためオリエンテーションを開催しますので、ぜひご参加ください。詳細は大阪市成年後見支援センターホームページをご確認ください。(https://osaka-kouken.com)

対象 大阪市内在住または在勤で24歳以上68歳以下の方
(令和4年3月31日現在)

第1回 5月14日(土) 午後2時~4時

大阪市社会福祉研修・情報センター 5階大会議室(西成区出城2-5-20)

第2回 5月18日(水) 午後2時~4時

大阪市立住まい情報センター 3階ホール(北区天神橋6-4-20)

第3回 5月21日(土) 午後2時~4時

大阪市立住まい情報センター 3階ホール(北区天神橋6-4-20)

第4回 5月26日(木) 午後6時30分~8時30分

大阪市立住まい情報センター 3階ホール(北区天神橋6-4-20)

内容 ①成年後見制度の概要と市民後見人の役割

②市民後見人養成講座の受講について など

定員 第1回は72名 第2回、3回、4回は各回100名

申込方法

住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日(第1・2・3・4回のいずれか)を記載のうえ、ハガキ(締切日消印有効)・ファックスまたはメール(yousei@shakyo-osaka.jp)でお申し込みください。

※締切日は各日程の2日前

申込先・問合せ

大阪市成年後見支援センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

FAX:06-4392-8900 TEL:06-4392-8282

※新型コロナウイルスの感染状況等今後の情勢によっては、開催方法や会場を変更する場合があります。

RESTART (再出発)

地域での活動再開に向けて 都島区桜宮地域

2年以上続くコロナ禍は、これまで地域での活動を積極的に担ってきたボランティアや地域役員の気力や体力を大きく変化させています。

昨今は、どうしても高齢者の外出機会の減少によるフレイルなどに目がいきがちですが、支援者側の気持ちや体調の変化も見逃せない課題となっています。

都島区桜宮地域の谷口文恵女性部長は、この間地域での活動再開に向けて地域役員と幾度となく話し合いを重ねてきました。どのような形態なら安全に集まってもらえるか？そのタ

イミングは？集まりたいけれど、これまで通りではいけないなどさまざまな葛藤がそこにはありました。

ただ、気がかりなことは、明らかにここらからの問いかけに対して以前とは違い、ボランティアや役員からアイディアや意見が積極的に出にくくなっていることでした。そして、この課題は、桜宮地域だけでなく区内の他の地域からも聞こえてきます。



▲ピラティスで心と体のウォーミングアップ

先ではないか？以前のよういきいきと活動を再スタートするきっかけづくりのようなことはできないだろうか？堅苦しいことではなくて、自身の健康にもつながることと一緒に気軽に楽しめるもの。そして、いきいき教室（なにわ元気塾）をヒントに、ピラティスの講座の開催へとつながりました。

短期間で地域内の全ての団体に活動分野を越えて声かけがされました。結果、20人以上の申込みが寄せられ、感染防止のため人数調整をし、やむをえず12人の参加が決まりました。

当日、集まった人たちは口々に「久しぶりやねえ。どうした？」と笑顔の再会に始まり、マスク越しに距離をとり、話し込む姿がそこかしこにあり、見学に訪れた男性役員からも思わず笑みもこぼれます。会場は同窓会のようなムードに包まれました。

「これまで、地域住民をその手でしっかりと支えてきたボランティアや役員にも優しい地域が本場の地域。いきなりコロナ前に戻そうとトップスピードで走り出すのは、支える側の私たちにも大変なこと。試合前のウォーミングアップみたいなものです。しばらくは、ゆっくり楽しみながら、皆さんと続けてみようと思います」と玉川允敏桜宮地域社協会長。

人と人がつながり、地域の人たちもつながっていきます。口で言うのは簡単ですが、新型コロナウイルス感染症という誰も経験したことがない感染症で世界は覆いつくされました。この後にめざす「思いやりをもってつながりあう地域」をつくっていくための活動のスタートはすでに切られています。

風をよむ

児童虐待対策と新たな資格

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 教授 所道彦

長年にわたり、児童虐待

への対応が求められているが、現在、国の社会保障審議会での議論を経て、「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー（仮称）」の創設に向けた準備が進められている。これは、一定の実務経験のある社会福祉士などが研修を受けて試験に合格することで取得できる民間資格である。国家資格化を求める声もあったが、これは見送られることになった。

児童虐待対応の体制を強化するためには、経験を積んだ専門職の確保・定着を図り、その経験が活かせる環境を整備することが重要である。新型コロナウイルスの対応にあたる保健所の大変な状況が時々報じられているように、公的機関における働く環境の問題が指摘されている。虐待対応の体制強化策の検討は、専門職の雇用や労働問題とセットでおこなわれなければならない。持続可能な体制づく

りが求められている。

また、児童虐待は複合的な要因で発生するものである。特定のケースだけがセンセーショナルに報じられる一方で、虐待を取り巻く社会の問題を見失わないようにしなければならない。警察庁によれば、2021年に虐待で死亡した54人のうち、29人が「無理心中」であったと報じられている。「無理心中」という概念を英語にすることは難しい。これも日本社会の構造的な問題としても捉える必要がある。

新たな資格をつくっても、それで児童虐待そのものが減るわけではない。複雑な問題や対策がいつの間にか「資格」の問題に矮小化されることがないように注意したい。また、事後的対応だけではなく、予防に向けた社会的な取り組みが必要である。「新しい看板」や「目玉」をつくる作業に時間をかけることのないようにしたいものである。

令和3年4月20日～令和4年3月3日の預託・払出は次のとおりです。

物品	預託者名	預託内容	払出先
キッズプラザ大阪		煎茶ティーパック 「なにわみどり」124,600個	24区社会福祉協議会
(株)NTTデータ エンジニアリング システムズ		スマートクッキー 199箱	大阪市児童福祉施設連盟
小林国際(株)		フェイスシールド 700個 マスク 6,000枚	24区社会福祉協議会
ライオンズクラブ国際協会335-B地区 3R 大阪戎橋いとはんLC		学習ノート 1,550冊	地域子ども支援 ネットワーク事業
スマイルチルドレン		てまもり泡フォーム 1,600個	大阪市児童福祉施設連盟
水野産業(株)		PVCグローブ 252箱	大阪市老人福祉施設連盟
(株)エヌカンパニー		抗ウイルス・除菌・消臭剤 192箱	大阪市地域福祉施設協議会
花王(株)		歯ブラシ150箱・歯磨き粉200箱	24区社会福祉協議会
(株)研文社		すこやかノート 2,300冊	23区社会福祉協議会
川本産業(株)		ステアジェル 5,000個	大阪市地域福祉施設協議会
株式会社セブン-イレブン・ジャパン		食品・生活用品等 572箱	各区社協、 地域子ども支援ネットワーク事業

金銭	預託者名	払出先
		大阪市社会事業施設協議会加盟2団体(老人・障がい) 200,000円
		大阪市成年後見支援センター 300,000円
		大阪社会福祉史研究会 300,000円
		大阪市社会事業施設協議会加盟2団体(児童・地域) 200,000円
		大阪市社会福祉協議会 620,029円
		みおつくし福祉会 北さくら園 300,000円
		みおつくし福祉会 リアン東さくら 300,000円
		四恩学園 300,000円
		ポ・ドーム大念仏 300,000円
		特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 170,000円
		社会福祉法人 そうそうの杜 131,097円
		東中浜地域活動協議会 174,000円
		NPO法人W・I・N・G-路をはこぶ 47,000円
		みおつくし福祉会 南さくら園 300,000円
		大阪市児童福祉施設連盟 700,000円

市社協

善意銀行

—みなさまの善意を大切に—

市社協では、みなさまからの善意のご寄附を、施設や団体へ払出しをおこなったり、助成金として活用させていただくことで、地域福祉の推進などに役立てています。

1月6日の収受式では、「スマイルチルドレン」に感謝状を手渡しました。いただいた寄附は、大阪市児童福祉施設連盟の事業に有効に活用させていただきます。



大阪市社会福祉協議会

法人就職説明会

令和5年4月1日採用の新卒予定者を対象とした説明会を開催します



日時 令和4年4月26日(火)
10:30~12:00 14:00~15:30

会場・オンラインどちらの方法でも参加できます

申込み 大阪市社協ホームページから
エントリーしてください

問合せ 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
電話06-6765-5601(担当:総務課)

検索 大阪市社協

市社協ホームページに関する

アンケート調査にご協力をお願いします

情報発信を強化し、市民の皆様へ情報をより分かりやすく伝えるために、ホームページの内容改善に向けてアンケート調査を実施します。いただいた回答をもとに、ホームページの内容を検討してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

- アンケートの回答は市社協HPから
<https://www.osaka-sishakyo.jp>
- 回答期日:令和4年5月6日(金)

QRコードからでも
回答いただけます!



「大阪の社会福祉」が リニューアルしました!

今号から紙面デザインをリニューアルしました。福祉に関する情報を、より見やすく、より読みやすくお届けできるよう心がけてまいります。引き続き、ご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険 家財の保険 火災の保険

www.ms-ins.com